

復職支援講習会 I

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的によりZOOM（ズーム）システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。
 - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
 - ② 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）
 - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

[申込方法]

- ① 参加希望者は下記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

都技生涯研修

令和3年度 復職支援講習会 I

オンラインセミナー

第1部

デジタル時代に役立つ 無歯顎補綴のガイドライン

第2部

『歯科技工士の今後のあるべき姿』 を考える

佐藤 幸司 先生

(公社)日本歯科技工士会 生涯研修認定講師
佐藤補綴研究室(名古屋市開業)



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和3年 12月19日(日)

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名

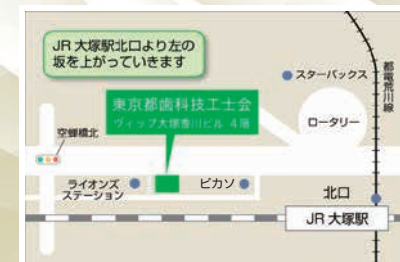
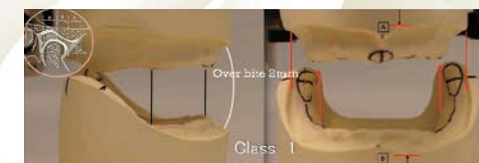
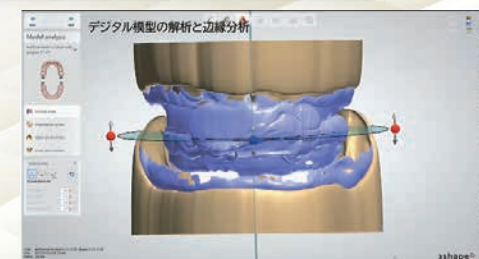
参加費 無料

会場受講

定員 10名

参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

第1部

デジタル時代に役立つ 無歯顎補綴のガイドライン

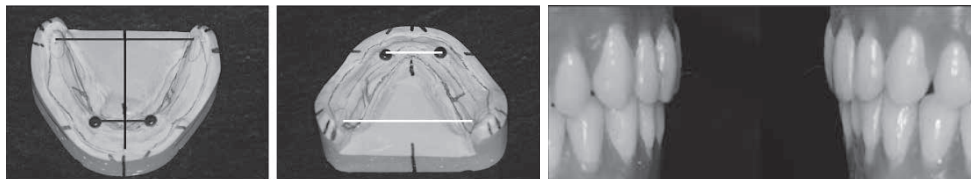
近年、超高齢社会を迎え高齢者歯科医療と共に在宅歯科医療も増加傾向になってきているようです。厚生労働省の歯科保健医療の二ーズ動向によると、在宅歯科医療・高齢者歯科や摂食・嚥下といった高齢者歯科医療の充実が求められ、義歯の質的需要が高度化してきています。また、歯科医療現場も高度に発達した歯科医療技術の進歩により、歯が喪失した無歯顎者の疾病構造も著しく変化してきていると思われます。義歯製作もより簡便で、客観的な根拠から効率的な“二義的人工臓器義歯”の製作システムとなる供給体制が求められています。

そこで今回の講演では、無歯顎臨床で最も重要な要素である印象採得と咬合採得から得られた咬合位（垂直的・水平的下顎位）を考察し、歯冠修復学にも役に立つ仮想咬合平面の設定基準について考察したいと考えています。

また同時に、症例を担当する歯科技工士も歯科医師の診断と治療計画をよく熟知したうえで、各ステップを慎重に進めなければならないと思います。印象体を大別すると、概形印象体と機能印象体に分類され模型上に表現された解剖組織を充分熟知し模型分析を行うことが重要であります。

次に仮想咬合位と仮想咬合平面の考察も大切であります。異なる臨床症例に対する咬合平面の設定基準と咬合湾曲の与え方について生理学的、力学的から考慮した部位に人工歯排列を行い、口腔内に調和した咬合と咬合様式を付与することが重要であります。

セミナーでは、生体に立脚した客観的な義歯の製作ポイントの基礎を学び、デジタルデンチャーの概要と歯冠修復学分野にもお役に立てるよう、時間の許す限り聴講して戴いた皆様と共にディスカッションし生涯研修の企画に沿ったテーマになれば幸いです。



第2部

『歯科技工士の今後の あるべき姿』を考える

2021年には、歯科技工・歯科技工士法制定66年を迎え、歯科医学・歯科医療技術の多様な進化に目を見張るものがあります。

先進医療の導入でデジタルデンティストリー（デジタルテクノロジー）の時代に、医療の原点である患者中心のヒューマンデンティストリー（ヒューマンテクノロジー）との融合も重要になってきています。たとえば、モノは物品であり、品物へと転化されることが考えられます。口腔内に装着されるモノが物品で良いのか否かについては、云うまでもなく我々医療に携わる歯科技工士は理解しています。

平成24年厚生労働省令145号の一部規則改正省令が平成25年4月1日施行に伴い「歯科技工所の構造設備基準及び歯科技工所における歯科ほてつ物の作成等及び品質管理指針」にもあるように、現在では、補綴装置のトレーサビリティや品質管理において、患者固有に異なるオーダーメイドとなる高度な補綴装置が求められています。一方人工臓器の分類では、広義として歯科補綴（義歯）は代行する機能による分類として、二義的人工臓器に位置付されています。

第2部では、文部科学省が検討している学校教育法の一部改正（2019年4月施行）で産業構造の急速な転換に伴い専門教育の転換期に、高度な専門教育制度から生涯研修の重要性と歯科技工を取り巻く法的根拠について考察し皆様と共に考えてみたいと思います。

講師略歴

佐藤 幸司

[さとう こうじ]



略歴

- 1950年 大分県出身
- 1975年 大分県歯科技術専門学校卒業
納富哲夫先生に師事：
霞が関歯科ポストグラジュエートセンター勤務
戸井歯科診療所勤務：安部歯科医院勤務
- 1985年 佐藤補綴研究室（名古屋市開業）：
（公社）日本歯科技工士会生涯研修 認定講師
- 1980年 東海歯科医療専門学校 非常勤講師
- 1990年 名古屋市立大学医学部研究員
第一解剖学教室入局（2006年まで在籍）
- 2002年 Ivoclar Vivadent BPS公認 国際インストラクター
- 2009年 名古屋歯科医療専門学校 非常勤講師
- 2017年 神奈川歯科大学大学院歯学研究所
総合歯科学講座咬合機能回復分野 特任講師

著書

- 『効率的な総義歯製作の技法』（共著：1998年 第一出版株式会社）
- 『初心者のための総義歯製作法』（共著：1999年 クインテッセンス出版株式会社）
- 『下顎吸着義歯とBPSパーフェクトマニュアル』（著：2011年 クインテッセンス出版株式会社）
- 『技工に強くなる本』（共著：2012年 クインテッセンス出版株式会社）
- 『超高齢社会を見据えた：パーソナルデンチャーの製作』（編著：2016年 医歯薬出版株式会社）
- 『スキルアップをめざす「エビデンスに基づく総義歯製作」』（著：2018年 医歯薬出版株式会社）
- 『生体情報から考える補綴装置の咬合コンセプト』（編著：2019年 医歯薬出版株式会社）

所属学会

- （特非）日本顎咬合学会会員 歯科技工士部会部員（学会認定 指導歯科技工士）
- （一社）日本歯科技工学会会員 国際渉外委員会委員（学会認定 指導歯科技工士）（学会認定 有床義歯専門歯科技工士）